

第54回 島立地区芸術文化祭

第20回 島立地区福祉ひろばまつり

11/8(土)
9(日)



島立さわやかコーラス



島立小学校ブラスバンド部



島立福祉ひろば
【健康ボイストレーニング】



高網中学校吹奏楽部



松島中学校吹奏楽部



令和8年1月1日現在
世帯数 2,906世帯
男 3,137人
女 3,306人
総人口 6,443人



俳画だより同好会

▼ かごサークル・クラフト



絵手紙クラブ



パッチワークの会



お習字講座



墨勝会



紫水会



四季の風



花の会



▶ 島立陶芸クラブ



松本筑摩高校書道部



◀ 島立児童センター



▲ 島立地区町内公民館OB会



◀ 押し絵 (個人出展)



豚汁配布コーナー

今回は、身近で見られる緑鮮やかなハイゴケとヤブコウジという小さな木を使用しました。苔玉用の土(ケト土2・赤玉土1・くん炭1)を丸めて団子状にし、土団子の中心にヤブコウジを植え付け、ハイゴケで覆ってはがれないように、糸でしっかりと巻いていきます。糸は自然に溶けてなくなるため、苔を固定する役割を果たします。

苔玉は、1週間に1回水に浸して水を吸収させることが必要です。日頃は霧吹きを使い、冬でも直射日光を避けて明るい場所育てるのがコツです。肥料は必要ありません。限られたスペースでも、苔玉の緑豊かな美しさが癒しの空間を提供してくれます。

今回は、身近で見られる緑鮮やかなハイゴケとヤブコウジという小さな木を使用しました。苔玉用の土(ケト土2・赤玉土1・くん炭1)を丸めて団子状にし、土団子の中心にヤブコウジを植え付け、ハイゴケで覆ってはがれないように、糸でしっかりと巻いていきます。糸は自然に溶けてなくなるため、苔を固定する役割を果たします。

今回は、身近で見られる緑鮮やかなハイゴケとヤブコウジという小さな木を使用しました。苔玉用の土(ケト土2・赤玉土1・くん炭1)を丸めて団子状にし、土団子の中心にヤブコウジを植え付け、ハイゴケで覆ってはがれないように、糸でしっかりと巻いていきます。糸は自然に溶けてなくなるため、苔を固定する役割を果たします。



苔玉づくり



荒井町内文化祭

10月26日(日) 恒例の荒井町内文化祭が開催されました。会場内は絵画、写真、書道、陶芸、手芸、小学生の工作作品、自慢のコレクションなど、出展者24人の協力を得て展示が行われ、45人の見学者がありました。

各作品には、作者の思いが込められており、改めて芸術のすばらしさや楽しさを実感するとともに、良い学習の機会にもなりました。

また、見学者には豚汁が振舞われ、町内住民相互の親睦が図られました。そしてメインイベントとして、恒例のひげダンスと素人演芸ショーが披露されました。今年の演芸ショーはダチョウ倶楽部らしき3人によるもの。抱腹絶倒とはいきませんでしたが、楽しいひと時を過ごせたのではないのでしょうか。

しかしながら、この文化祭も年々出展者が減少し存続の危機にあります。町内の行事がまた一つ消えてしま

うのでしょうか。

もしかしたら、これが最後の荒井町内文化祭になるの

かもしれない。でも、来年も来ませ



公民館講座 もみじ湖ウォーキング (伊那路の旅)

11月14日(金)

に島立公民館主催による公民館講座「もみじ湖ウォーキング」が行われました。

この講座には、25名が参加し、もみじ湖(箕輪町)、道の駅南アルプスむら長谷(伊那市)、かんてんぱぱガーデン(伊那市)の3カ所をバスで巡りました。

今回のメインとなるもみじ湖は、箕輪ダムのダム湖の周辺に約1万本ものもみじが植えられた人気の紅葉スポットで、紅葉の名所ランキング日本一にも選ばれています。この日は青空のもと、もみじのトンネルのある散策コース(約1km)を歩きながら、赤を中心としたグラデーションのある紅葉を十分に満喫することができました。

参加者の皆さんも立ち止まって紅葉の美しさに見入ったり、何枚も紅葉の写真を撮ったりしていました。

この行程の途中で、「天下第一の桜」で有名な高遠城址公園(伊那市)も通りました。以前にそこへ行っ



たときのことを思い出しながら、どういうわけか年を取ると、ことさら春の桜と秋の紅葉に心惹かれるものだなあと感じました。

この伊那路の旅を通して、唱歌「もみじ」の歌詞(高野辰之作詞)をしみじみと思いながら紅葉を満喫し、地域の方とも交流を深められた、秋の一日となりました。

季節の写真



樺



紅葉



白馬岳の三段紅葉

島立っ子森・社探険隊 島立自然体験学習チーム

11月30日(日)、「三九郎の学

びとまゆ玉づくり&昔のあそび体験」を行いました。地域の皆様のご指導のもと、三九郎の由来や作り方を学び、組み立てや縄の縛り方を体験しました。米粉で作ったまゆ玉を柳の枝にさし、焼いて味わいました。三九郎の中に入ったり、藁にもぐったりと体で感じる体験は、子どもたちにとって貴重な時間となりました。

「自分たちでできる力」を育む良い機会となりました。子どもたちの様子から伝統行事の大切さを改めて感じる一日でした。昔のあそびでは、風車作りやめんこ、こま、羽子板などに夢中になり、汗をかきながら楽しみました。

あそびを通して思いやりも育まれています。たくさんアルな体験をして欲しいと思います。地域の皆様の温かいご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。



永田町会冬期講座

永田公民館

で12月7

日(日)、「おしっこ(排尿)」をテーマにした健康講座が行われました。

講師に北信総合病院の栗田知典先生をお迎えし、身近でありながら相談しにくい「頻尿」と「尿が細い」などの症状について、専門的なお話を伺いました。

夜間頻尿を軽減できる生活習慣の見直し方や、ふくらはぎストレッチが説明されました。

一方、「尿が細い」症状を引き起こす前立腺肥大についても、わかりやすく説明がされました。

どちらも気になる場合は、泌尿器科で相談すると良いようです。

講義の合間に、公民館の保健スタッフから、冬場の過ごし方のアドバイスがありました。特に「ヒートショック」が起きやすい入浴時は、「温度の急な変化がないように」とのことでした。

健康の知識が得られる、有意義な時間となりました。

